

福祉・医療・教育

Welfare, Medical care, Education

途切れのない支援

子どもたちの健全な育成や高齢者が生きがいを感じられるよう、学校、地域、家庭が連携した取組を進めています。

誰もが輝き、健康で暮らすために



01 → すずっこスクエア

集団になじみにくい子どもとその保護者を対象に、子どもの特性に応じたサポートを臨床心理士・保健師・教員・保育士などが一緒に考えます。子育てに不安を感じる保護者に寄り添い、気軽に相談できる窓口となっています。

02 → 子育て支援センター「りんりん」「ハーモニー」

施設内のおもちゃや遊具などで子どもたちを気軽に遊ばせることができます。また、保護者同士で交流したり、スタッフに子どもの健康や子育てなどの相談をすることができる憩いの場となっています。

03 → 療育センター

第1療育センター、第2療育センターからなり、お子さんの発達段階に寄り添い、さまざまな遊びや訓練を行うことで、成長の発達を促し、個人として日常生活に必要な力を身に付けるよう支援を行います。

04 → 5歳児健診

児童の得意なところや苦手なところを理解し、成長に応じて就学前から早期の支援を実施することにより、自信をもって生活ができるよう、満5歳児の児童を対象に健診を行い、継続して健診後のフォローを行っています。

05 → すくすくファミリー教室

夫婦や親子で気軽に参加でき、楽しみながら知識の習得や体験学習、仲間づくりができる各種教室を開催しています（プレパパママ、沐浴、マタニティ歯科、マタニティクッキング、離乳食コースなど）。

06 → 認知症サポーター養成講座

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるように、認知症の理解を地域全体に広めるために、あらゆる機会を活用し、認知症に関する知識の普及啓発を行っています。

急病患者にも対応



応急診療所

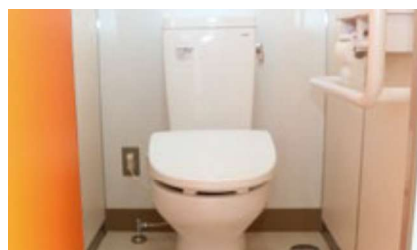
総合保健センターの中にあり、医師会、薬剤師会の協力で、急病患者の方に応急の診療をしています。土曜日・日曜日、祝日の夜間は、小児科専門医による、小児科夜間応急診療をしています。

さまざまな視点から「教育」の支援体制を整備



ICT教育

より質の高い授業を行う環境を整え、未来を支える人材を育てるため、学習用ICT機器を積極的に活用し、プログラミング教育や英語教育をはじめ、子どもたちが分かりやすく、一人一人の能力や特性に応じた学びが実現するよう取り組んでいます。



エアコンの設置 トイレの洋式化

子どもたちが快適に学べる学習環境を整備するため、市立の小・中学校の普通教室と特別教室のすべてにエアコンを設置しています。また、トイレの洋式化・乾式化にも順次取り組んでいます。